

真昼

真昼の舟は手のひらの上
鏡に映らない私と

僕のともだち

プリズムと遊ぶ子供たちに
今日もさよならを言う
僕はいい加減な話が好きだから
鼻をこすりあって笑う
僕のともだちの鼻はどんどんすり減っていく

僕は
暗くなる

まるく

まるくくりぬいて
葉っぱの形
ひらひら

かわいい人とおわかれしました

詩 3 ツ 露古